

第四次産業革命スキル習得講座 修了時実施状況報告書(令和7年度実績)

令和7年度の認定講座の運営状況について、下記のとおり、修了時のアンケート結果を報告します。

調査対象講座の名称	AR/MR専門家育成プログラム
認定講座番号	50716-1305

(1) 講座の開催状況

①令和7年度内の開講回数(うち、すべてオンラインで実施した回数)	0(0) 回	→「0回」と回答した事業者は(3)へ		
②令和7年度内の受講者数(うち、すべてオンラインでの受講者数)	( ) 人			
受講生の属性	男性	人	受講者の性別ごとの人数を記載してください。性別を把握されていない場合、空欄として差し支えありません。	
	女性	人		
	その他・回答なし	人		
③令和7年度内の修了者(うち、すべてオンラインでの修了者数)	( ) 人	修了者の性別ごとの人数を記載してください。性別を把握されていない場合、空欄として差し支えありません。		
	修了者の属性		男性	人
	女性		人	
	その他・回答なし	人		

※修了者のうち、都道府県別の修了者数を把握している場合、こちらに内訳を記載してください。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		人	
② 受講開始時の就業状況等(問1)	1 正社員	人	②A: 就業者計 ※( )は氷河期世代内数計 0 ( 0 )
	うち、就職氷河期世代(令和7年4月1日時点で39~54歳)	人	
	2 非正社員、派遣社員	人	
	うち、就職氷河期世代(令和7年4月1日時点で39~54歳)	人	
③ 就業中の受講者による講座の評価(問2)	3 その他の就業(自営業等)	人	②B: 非就業者計
	うち、就職氷河期世代(令和7年4月1日時点で39~54歳)	人	
	4 非就業者	人	
	うち、就職氷河期世代(令和7年4月1日時点で39~54歳)	人	
④ 就業していない受講者による講座の評価(問3)	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 0
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人	
	3 社内外の評価が高まる	人	
	4 円滑な転職に役立つ	人	
	5 趣味・教養に役立つ	人	
	6 その他の効果	人	
	7 特に効果はない	人	
⑤ 講座の全体評価(問4)	1 早期に就職できる	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 0
	2 希望の職種・業界で就職できる	人	
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	人	
	4 趣味・教養に役立つ	人	
	5 その他の効果	人	
	6 特に効果はない	人	
⑥ 講座の全体評価(問4)	1 大変満足	人	⑤の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 0
	2 おおむね満足	人	
	3 どちらとも言えない	人	
	4 やや不満	人	
	5 大いに不満	人	

※年度を跨いで開講している講座については、(2)②の記載にご注意ください。

(3) (1)①で年度内の開講回数が「0回」となった理由

1. 事業者側の開講準備等が間に合わなかったため(具体的説明)
2. 募集したにもかかわらず、受講希望者が集まらなかったため(具体的説明) 2名がお申込を検討されていたが(1名個人事業主の方が事業拡張および課題解決のための受講、もう1名が社員のリスキリングのため法人受講)、個人事業主の方は既存事業が急遽多忙となり見送り、もう1名の法人はAI等の他研修が優先となり、見送られている。
3. その他(具体的説明)

(4) 講座の改善状況

実施要項において当該教育訓練の評価及びその改善を継続的に行う仕組みを有することとしており、教育訓練の内容や方法等について改善を行う必要があります。今後カリキュラム等の変更(更新)を予定している場合は、変更内容や変更時期について可能な範囲で記載をお願いします。 なお、記載内容によってはヒアリングを実施させていただく場合もあります。
事前にご相談のうえ、リススキル講座の変更届(2026年1月20日提出分)で既にご承認いただいている件ではありますが、講座の一部単元で使用していたデバイスのうち1つ(MRグラス)が、メーカーによる販売およびサポート終了を受け、そのデバイスに関わる教材部分のみ、新教材(JavascriptによるWebAR開発)に差し替えを行う、改善を行っております。

※本報告書とともに、受講者アンケート(個票)を提出してください。

作成年月日 令和8年4月27日